

2022年(令和4年)10月28日(金曜日)(1)



航空公園の滑走路でポルシェなどの体験試乗を商品化した
富田社長(右)と運営スタッフ



「北海道スペースポート・0-200体験」と銘打った体験会は、グループ企業のジユラテクノロジー(大樹町晚成、富田社長)が運営。滑走路の多角利用の一環で、11月からインターネットで受け付けを開始する。

キャリオ「宇宙観光」参入



大樹町晚成地区で建設中の小規模ホテル

安全面を考慮し利用客は

「宇宙観光」参入する。
ホタル、宇宙港運営会社

大樹町は木造2階建て延べ床面積は約300平方メートル。1階はレストランと食品加工棟、2階が宿泊棟(シングル4、ツイン1)。晚成美成地区を一望する高台にあり、海岸沿いの射場から打ち上がるロケットが見える。隠れ家的な高級宿にする考えで、来年4月の開業を予定している。

ホタルは富田社長が代表を務める一般社団法人「日本カレラクラブ」(京都府)が管理し、ジユラ社が運営。同法人は会員制の高級ワイン輸入・販売や高級車レンタルなどを展開。ホテルは会員を十勝に招く受け皿に

大樹・航空公園

滑走路で射場望むホテルも

スーパーカー

加速体験

[大樹]キャリオ技研(名古屋市、富田茂社長)のグループ企業・団体が、大樹町多目的航空公園の滑走路を会場に、スーパーカーの加速体験会を開催した。同時に大樹町晚成地区の所有地に、ロケットの打ち上げを望める富裕層向けの小規模ホテルを建設中で、「宇宙版シリコンバレー」に観光面で参画する。

(能勢雄太郎)

速走行が不可能なポルシェ、フェラーリの走りを体感できる。料金はポルシェが5万円、フェラーリが7万円(税別、保険料込み、いずれも2回の試乗)。大樹町は来年度、ふるさと納税の返礼品に同体験メニューを加えることにしていく。

ホタルは木造2階建て延べ床面積は約300平方メートル。1階はレストランと食品加工棟、2階が宿泊棟(シングル4、ツイン1)。晚成美成地区を一望する高台にあり、海岸沿いの射場から打ち上がるロケットが見える。隠れ家的な高級宿にする考えで、来年4月の開業を予定している。

ホタルは富田社長が代表を務める一般社団法人「日本カレラクラブ」(京都府)が管理し、ジユラ社が運営。同法人は会員制の高級ワイン輸入・販売や高級車レンタルなどを展開。ホテルは会員を十勝に招く受け皿に

位置付ける。

次世代自動車や無人飛行機などの開発を手掛けるキャリオ技研は、有害鳥獣駆除のシステム研究を十勝で展開。幕別、更別、大樹、広尾の4町村と連携協定を結んでいる。運動してエゾシカ肉の食品加工(缶詰製造)も手掛ける。

大樹町の宇宙港運営会社スペースコタンに出資するなど「宇宙のまちづくり」も支援し、その延長で宇宙港の施設を活用した観光事業を企画した。今後、滑走路を活用して小型飛行機の輸送サービスやゴルフのドローン大会も計画している。これまでの投資額は6億円弱。

富田社長は「グループを挙げて大樹の宇宙港構想(HOSPO)を盛り上げたい。大樹のみならず連携協定を結ぶ4町村の振興につながれば」と話している。